

各位

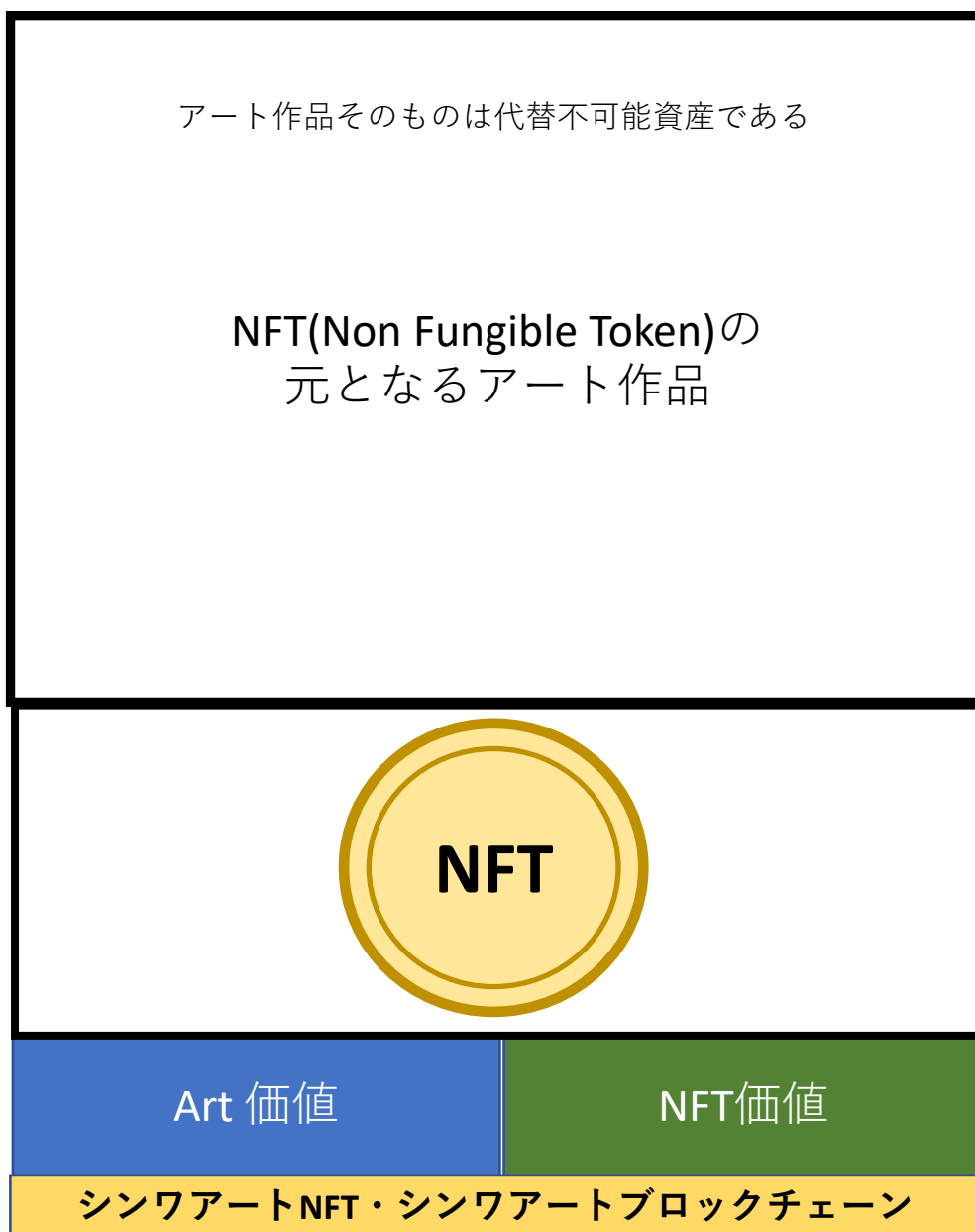
会社名 Shinwa Wise Holdings 株式会社
代表者名 代表取締役社長 倉田 陽一郎
(JASDAQ・コード2437)
問合せ先 取締役 岡崎 奈美子
電話番号 03-5537-8024
(<http://www.shinwa-wise.com>)

Shinwa Wise Holdings株式会社による取り扱いアートのブロックチェーン登録に伴う
アート作品を元にしたNFTの生成・販売にかかる新規事業開始のお知らせ

当社は、2021年3月17開催の取締役会において、当社グループによる取り扱いアートのブロック
チェーン登録アート作品を元にしたNFTの生成・販売の新規事業の開始を決議しましたのでお知らせ
します。(図表1)

(図表1)

Shinwa Wise Holdingsグループで販売するアート作品を
NFT(代替不可能トークン)化する



NFTの生成・販売事業を開始する背景：

Shinwa Wise Holdingsグループは、過去30年以上に渡り公開の場で競りを行うオークションを開催し、数多くのアートコレクターの皆様にご愛顧いただき、アート作品の換金と販売の業務に邁進してまいりました。そして、近年、21世紀に入り、アートのコピー技術の発達には目を見張るものがあり、現在、プロのアート取引業者も被害に会うほど、フェイクと言われる偽物のアート作品や、偽物の版画が出回る状況に直面しております。

そして、2021年2月8日のNHKの報道では、「戦後を代表する日本画家、平山郁夫などの作品をもとにした偽物の版画が、数年前から百貨店などで流通していたとみられることが関係者への取材で分かりました。画商でつくる組合の調査に対し、大阪の画商が販売したことを認めているということで、警視庁は著作権法違反の疑いで捜査しています。

偽物の版画が流通していたのは、日本画家の平山郁夫や東山魁夷、それに片岡球子の作品です。

版画を扱う画商でつくる「日本現代版画商協同組合」などによりますと、原画をもとに職人が制作する版画は通常、画家本人や遺族の許可を得たうえで数を制限して販売していますが、去年の春ごろ、特定の版画が百貨店などで多く流通していることに組合員が気付いて調査したところ、色合いなどがわずかに異なる偽物が含まれていたことが分かったということです。

さらに、流通ルートを調べた結果、大阪市で画廊を営む50代の画商が関わっていることが分かり、組合の調査に対し、数年前から販売していたことを認めたということです。

偽物の版画は、確認できただけで10作品あるということで、組合は去年12月、この画商を除名処分しました。

また、捜査関係者によりますと、偽物の版画は奈良県にある工房で制作していた疑いがあるということです。

警視庁は去年12月に著作権法違反の疑いで関係先を捜索し、複数の版画を押収したということで、今後、鑑定を進めるとともに流通ルートなどを調べることにしています。「戦後を代表する日本画家、平山郁夫などの作品をもとにした偽物の版画が、数年前から百貨店などで流通していたとみられることが関係者への取材で分かりました。画商でつくる組合の調査に対し、大阪の画商が販売したことを認めているということで、警視庁は著作権法違反の疑いで捜査しています。...」

と記事は続きます。実際にインターネットオークションのサイトには、様々なアート作品や版画作品が出品されていますが、それらの商品が、本物であるか偽物であるかネット上では見分けがつかないものがあるのが現状です。版画作品と言いながら、カラーコピーで作られた偽物を本物の版画として販売されているケースもあります。

そのような環境下において、世界では、2008年のサトシナカモトと名乗る人の論文からビットコインのプロトコルが提唱され、世界に新たに自立分散化された社会を目指す暗号資産を支えるブロックチェーンの技術がこの世に出ることになりました。

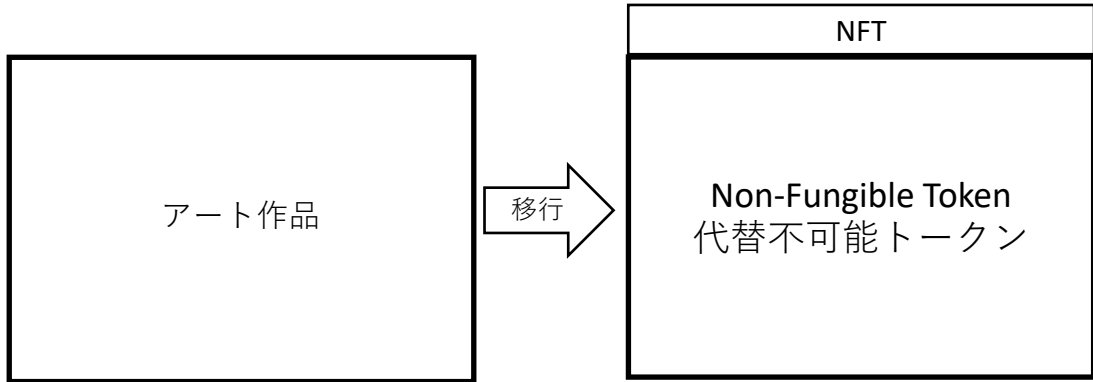
サトシナカモトが提唱したビットコインコアと呼ばれるプロトコルが世に出てから12年経ち、暗号資産市場は100兆円を超える時価総額を持つ市場に成長しながら、自立分散化社会へのインフラ構築を着々と進めてきています。

そのような環境下で、アート作品は本来コピーできない代替不可能資産であるにもかかわらず、価値が高額なために、偽物やコピー商品が横行し、代替不可能ではなくなってきている状況になって来ています。この状況を打破するためにアート作品を改竄できないブロックチェーンに登録すると同時に、アート作品そのものを代替不可能なトークンに組み込んでいく試みがブロックチェーンの技術革新の中で展開されて来ています。（図表2）

(図表2)

アート作品は代替不可能資産である。

しかし、コピー作品・贋作が横行している



代替不可能なためには、偽物が本物に認定されるとそれは、世界で二つの本物が生じることになり、代替不可能資産ではなくなる

アート作品のままでは、本物と区別できないコピーが作られる可能性がある。

本物には価値があるが、ニセモノには価値がない。

しかし、本物と偽物が区別つかなくなると、これまでとは別の二つの資産となる。

アート作品



このトークンは、ブロックチェーン上で生成されるため、代替不可能となる

アート作品をブロックチェーンに融合して、ブロックチェーンに登録された限りなく代替不可能な新たな資産を作る

The complex block features a gold-colored circular graphic with the text '代替不可能トークン' (Non-fungible token) and 'NFT'. Below it is a stylized image of a person in a black jacket holding a bouquet of flowers against a red background. To the right of the image is a text box explaining the process of creating new assets by combining art with blockchain technology.

NFT (Non Fungible Token) とは:

NFTとは、**Non Fungible Token**の略で、日本語では**非代替可能性トークン**と言います。ブロックチェーン上に生成される**非代替性トークン**のことを指します。**NFT**を手作りの骨董品やアート作品などに紐付けることにより、権利の所在を明確化することも可能だと言われ、当社グループでは、株式会社レジストアートと**2018**年から事業提携をして取り組んでいます。また、アートの登録事業の開発に**NFT**を利用したサービスで最も有名なのは**クリプトキティーズ (CryptoKitties)**がありますが、ヴァーチャル上に作成した猫をブロックチェーンに登録することで、その猫の画像は唯一無二のものとなり、画像がコピーされても、トークンに登録された自分の描いた猫の画像はあくまで世界で一つのものとして扱われ、そのトークンを売買することが可能です。この度、当社グループは、数ある版画商品の情報を**NFT**に取り込むことにより、その情報を唯一無二のものとして、そのアート作品と共に販売します。結果として当社グループが取り扱った**NFT**とアート作品は、当社グループによりその真性を判断することになります。

(シンワアート**NFT**の技術要件)

シンワアート**NFT**は、暗号資産イーサリアムの**ERC721**もしくは、**NEAR**プロトコルによって生成されます。

(シンワアートブロックチェーンの技術要件)

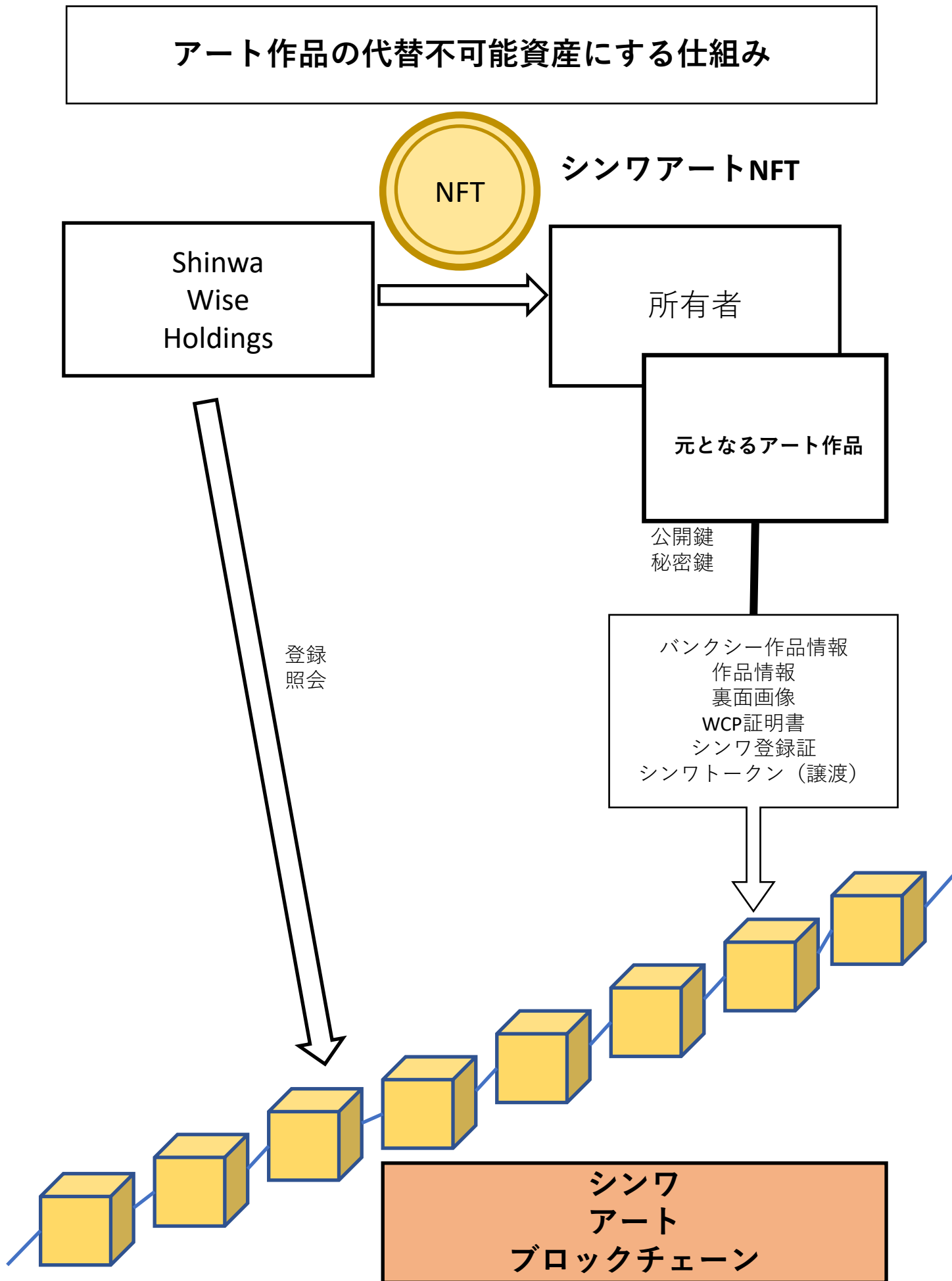
シンワアートブロックチェーンは、暗号資産「**Horizen (ホライゼン)**」をメインネットに、そのサイドチェーン**Zendoo** (現在はベータ版) により構築されたブロックチェーンです。ホライゼンは、もともとは「**ZenCash (ゼンキャッシュ)**」という名称で公開されていた暗号資産です。ホライゼンは「**Zen Blockchain Foundation**」という非営利団体によって資金が管理されており、ブロックチェーン技術を使ったプライベート通信を可能にしているのが特徴です。ホライゼンのネットワークは全世界で**40,000**以上ともいわれる膨大な数のノードによって支えられているプラットフォームです。これは最も有名な暗号資産と言われるビットコインやイーサリアムよりも多く、それだけ安定したトランザクションを維持し続けているプラットフォームです。またゼロ知識証明や**zk-SNARKS**と言われる最先端のプライバシー技術を用いて、利用者のプライバシーを保護することにも力を注いでいる暗号資産です。

当社グループでは、これからのホライゼンの有効性を生かし、改竄できないアート情報の管理を実施する予定です。(図表3)

アート作品を元にした**NFT**を生成する目的:

実物資産をブロックチェーンに登録することにより、本来、非代替資産であるアート作品のコピー品をできる限り排除することを目的とします。**NFT**はブロックチェーン上に生成されているため、偽物を作ることができませんが、実物資産であるアートは、限りなく本物に近い偽物を作ることが可能です。偽物を限りなく排除するために実物資産をブロックチェーンとリンクさせることにより、偽物が製造される可能性を大幅に低下することが可能になります。(しかしながら、実物資産であるアートは、ブロックチェーンでリンクして管理したとしても、**100%**代替不可能になるわけではありません。**Shinwa Wise Holdings** グループはこのプロジェクトを通じて、資産となるには更なる技術的な革新を推進して**100%**代替不可能な実物資産としてのアート作品の管理を目指します。)

(図表 3)



Shinwa Wise Holdings グループが提案するアート登録管理：

当社グループのアート登録管理は、2つのことなるブロックチェーンにより構成されます。まず、世界で大きなノードネットワークを持つ暗号資産ホライゼン（Horizen）をメインネットとしたサイドチェーン「Zendoo」ベータ版（2021年第3四半期にメインネットに移行予定）のブロックチェーンを利用して、アート作品情報の登録を行います。このブロックチェーンをシンワアートブロックチェーンと呼びます。これにより、ブロックチェーンに登録されたアート情報の改竄は不可能になります。

同時に実物資産の世界においては、当社の登録証とアート作品の裏面に当社グループ独自の印をつけます。

アート作品とこの印が、ブロックチェーン上に登録された情報が一致する場合において、アート作品の真性が証明されます。

そして、シンワの印のついたアート作品とそこに紐づくシンワアートブロックチェーンの公開鍵と秘密鍵情報を組み込んだNFT（ノン・ファンジブル・トークン）を暗号資産NEARプロトコル上に生成します。

当社グループは、当社が生成したアートNFT（アート作品情報とブロックチェーンZendooに組み込んだアート登録情報が内包するトークン）と、このNFTの元となるブロックチェーンに登録されたアート作品をセットで販売します。

（リスク要件）

ブロックチェーン上に記録されるため、当社グループがNEARプロトコル上に生成するアートNFTと当社がZendooに登録するシンワブロックチェーンのアート情報が改竄されるリスクはありませんが、そのものとなるアート作品と当社グループがつける印は、技術的な進歩により実物世界の中でコピーされるリスクが介在します。

NFT販売による4つの価値形成：

当社グループが販売するシンワアートNFTとブロックチェーンに登録されたその元となるアート作品のセットには以下の4つの価値が存在します。

（NFT+登録されたアート作品セットとしての価値）

このセットを構成するNFT、アート作品そしてブロックチェーンの総合的な価値として、市場において、セットとしての価値

（NFTの価値）

NFTという唯一無二なトークンの価値

（アート作品の価値）

市場で評価される作品そのものの価値

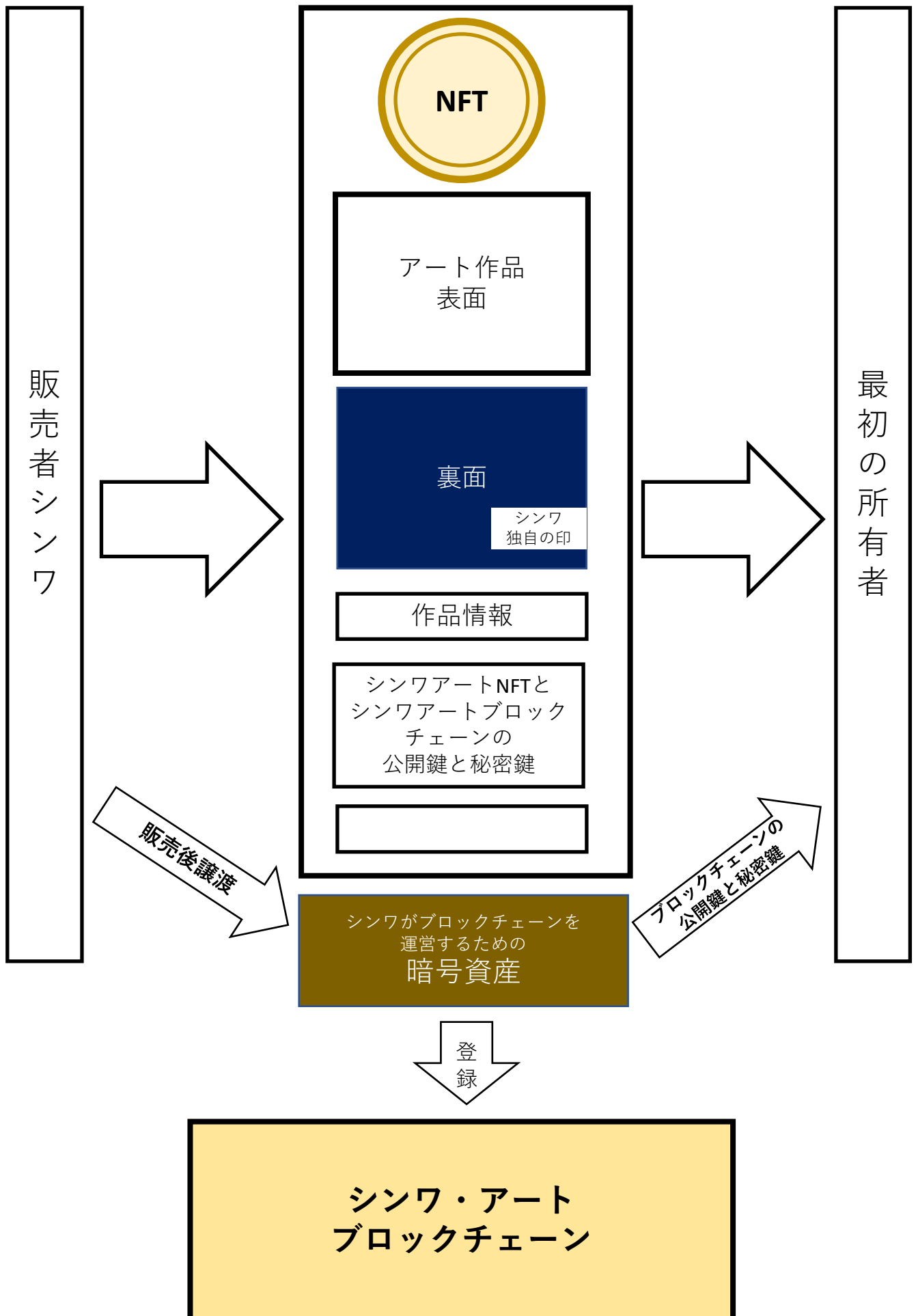
（シンワアートブロックチェーン登録の価値）

ブロックチェーンに組み込まれるコインやトークンを含めたシステムの価値

（図表4）参照

(図表 4)

最初の所有者への販売



最初の所有者への販売：

当社グループが販売するシンワアートNFTとブロックチェーンに登録されたその元となるアート作品のセットでの販売により、作品情報をNFTにしたトークンと、ブロックチェーンに登録したその作品そのものを販売します。当社グループは、作品の裏面には、当社しか認知できない印をつけます。最初の所有者は、シンワアートNFTと裏面に当社独自ののついたアート作品、高解像度の画像データ、シンワアートNFTとシンワアートブロックチェーンの公開鍵と秘密鍵、そして、当社グループの登録証を取得することができます。最初の所有者が、シンワアートNFTとブロックチェーンに登録されたその元となるアート作品のセットを取得後、当社グループは、プロモーションとしてシンワアートブロックチェーンを運営するためのコインを所有者に譲渡し、ブロックチェーンに組み込みます。

(注) 上記のブロックチェーンの公開鍵と秘密鍵は、この商品が当社が取り扱ったということを証明するため、所有者と当社グループのマルチシグ（秘密鍵がないとオープンできないアカウント）で運営されます。

NFT代替不可能資産のアートの転売：

シンワアートNFTとブロックチェーンに登録されたその元となるアート作品のセットで販売する場合、そのままの価値で、相対やオークションで取引することが可能です。

(図表5)

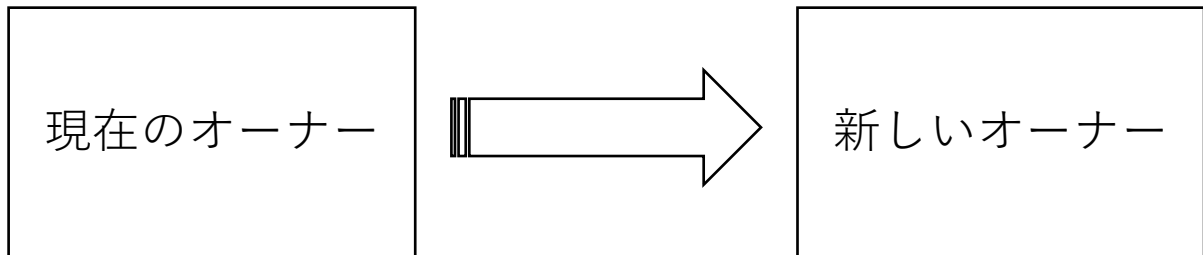
NFTを切り離してアート作品だけを転売：

シンワアートNFTとブロックチェーンに登録されたその元となるアート作品のセットを販売する段において、元となるアートとNFTとブロックチェーンを切り離すことは5年間禁止されます。5年後、切り離すことを希望する所有者は、アート作品はアート作品として取引が可能になり、シンワアートNFTとシンワアートブロックチェーンのアドレス内にある資産は、当社グループが買取ります。買取り価値は、当社グループによるブロックチェーンの中のトークンとコインの時価の8割の金額で買い取りとります。

(図表6)

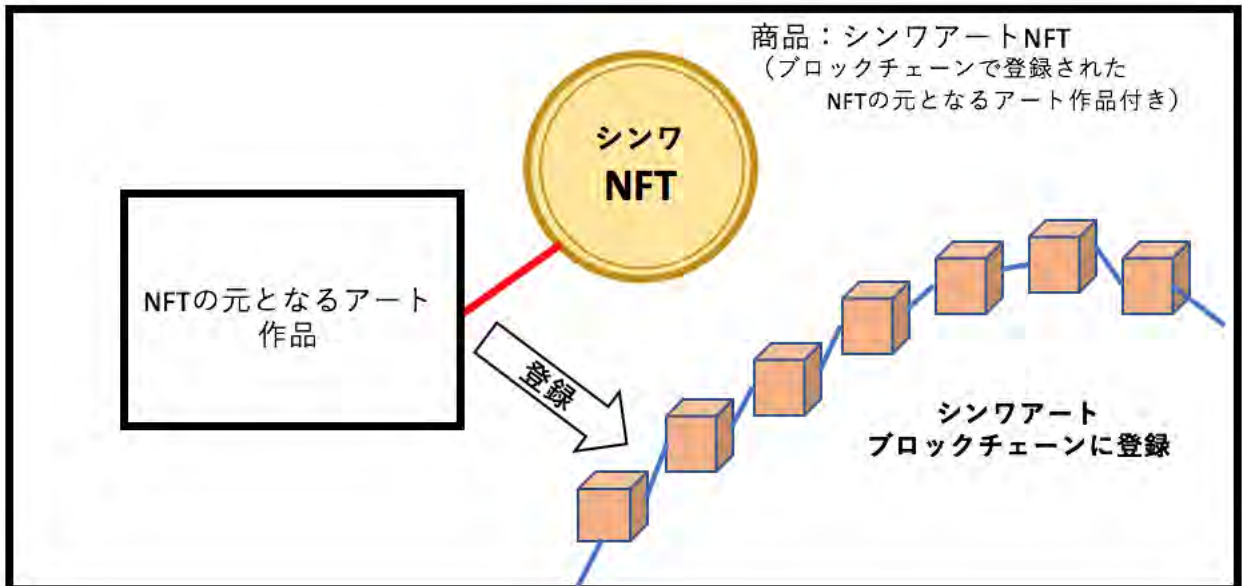
(図表 5)

NFT代替不可能資産のアートの転売



NFTの元となるアート作品とNFTを市場価格で売買

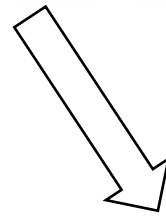
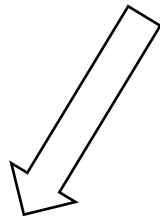
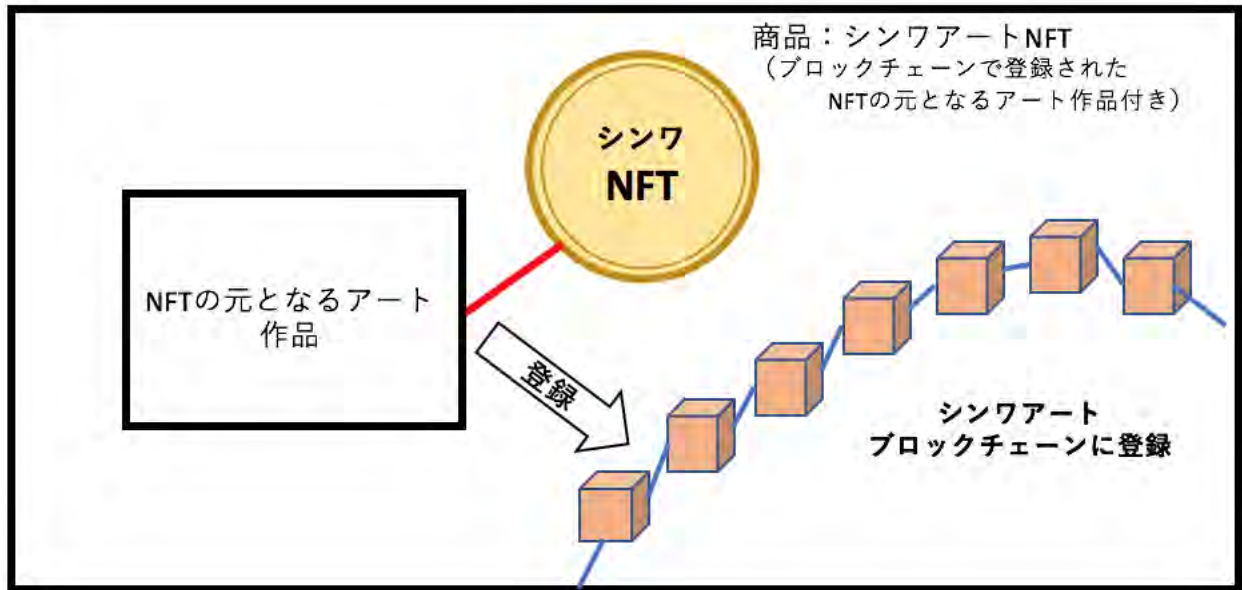
オークションでも売却可能



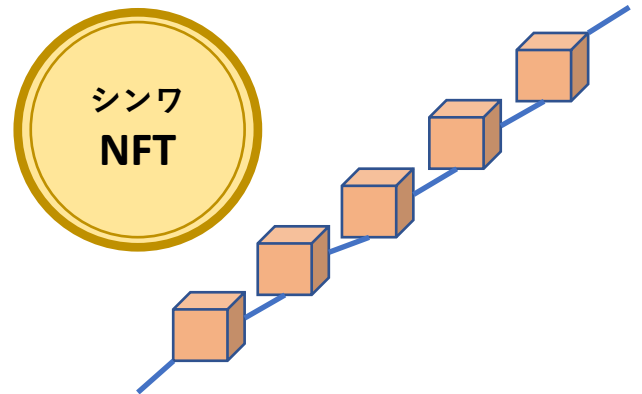
Shinwa Wise Holdings グループに紹介することによりNFTの元となるアート作品がNFTと紐づいているかを認証

(図表 6)

NFTを切り離してアート作品だけを転売



アート作品



アートとしての価値があれば
アートとして売却

ブロックチェーンが保有する
資産を

シンワが買い取り
公開キーと秘密キー取得

Shinwa Wise Holdings グループによる最初のNFT販売：

当社グループでは、この度のアート作品のNFT化の事業としての最初のプロジェクトとして、WCP（West Country Prince）が製作しているバンクシーのリプロダクションのエディション作品をNFT化し、シンワアートブロックチェーンに登録します。

WCPは、バンクシーの図柄をエディション作品（プリントする枚数を決めて、番号をつけた作品）として販売していますが、その作品を、当社グループが登録することにより、コレクターが安心してコレクションできるだけでなく、NFTとブロックチェーンに登録された元となるアート作品が資産となることが可能になると考えています。（図表7）

Shinwa Wise Holdings グループによる最初のNFT販売の時期：

当社グループでは、二つのブロックチェーンに乗せるシステムの開発を4月中旬に終え、4月後半より販売を開始します。

Shinwa Wise Holdings グループによる今後のNFT販売の展望：

この度のNFTとその元となるアート作品の販売は、現在、日本のアートマーケットで懸念される偽物版画が市場に出回るリスクを減少させることになると考えられます。当社が取る扱う版画とNFTをリンクさせることにより、元となる版画そのものの価値が上昇する可能性も考えられます。

当社グループでは、この度のアート作品のNFT化の領域を更に広げ、デジタルアートやデジタルコンテンツのNFT化し、これを流通市場に乗せる事業を展開してまいります。

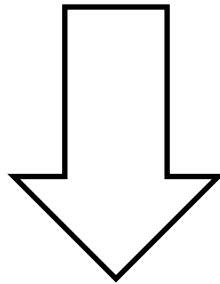
当社グループへの事業への影響：

シンワアートNFT（アート作品情報とブロックチェーンZendooに組み込んだアート登録情報が内包するトークン）と、このNFTの元となるブロックチェーンに登録されたアート作品の販売による新たな事業が、将来当社の業績を支える主要な事業になるよう取り組んでまいります。

(図表7)

Shinwa Wise Holdingsグループによる アート作品を代替不可能資産にする試み

WCP (West Country Prince)による
バンクシーBANKSY
リプロダクション作品
(枚数を限定したエディション作品)



代替不可能資産に (NFT化)

